

「しばらく休むがよい」

マルコによる福音書 6章30～33節

女子聖学院中学校高等学校チャプレン 前川 あきほ

いよいよ待ちに待った夏休みが目前に迫ってきました。皆さんは、この夏休みをどのように過ごそうと考えていますか？久しぶりの旅行を計画している方もおられるかもしれません。旅行と言えば、皆さんはアクティブな旅行が好きですか。それともゆっくりする旅行が好きですか。アクティブな旅行で思い起こすのは、今年5月のゴールデンウィークに沖縄に旅行に行った女性グループがテレビのインタビューに答えていた様子です。彼女たちは、女子聖の宿泊行事パンフレットにも劣らない、沖縄旅行で何をするのかをバッチリまとめたしおりを作っていました。1日目の何時にどこに行き、昼はどこで食事をし、ホテルにチェックインするまでの間に何をするのか、など、びっちり予定がまつたしおりでした。

一方で、ゆっくりする旅行が好きな方もおられると思います。とりあえず行き先と宿泊先だけ決めておき、何をするのかはその時の流れに任せる旅行です。以前私がオランダに住んでいた時、ホームステイをさせてもらっていたおじいちゃんとおばあちゃんがそのタイプの旅行をしていました。その昔、まだ彼らの子どもたちが小さかったころ、オランダから車を走らせて、ユーゴスラヴィアという今はもうない国に休暇に行っていたそうです。それで、何をしていたのかというと、何もしなかったそうです。ただ、普段の日常から離れて、のんびりゆっくりしていたと。そして、同じ場所に、繰り返し、子どもが小さい頃は毎年行っていたそうです。それまで、旅行というものは、どこか知らない場所へ行き、色んな観光地を巡るものだと考えていた私にとって、彼らの旅行スタイルはとても新鮮でした。

今日の聖書のお話では、イエス様のことを沢山の人々に伝えに行く旅から戻り、疲れ果てた様子の弟子たちが登場します。そんな弟子たちに向かってイエス様は語りかけます。「さあ、あなたがただけで人里離れた所へ行って、しばらく休むがよい。」

4月から目まぐるしい日々を駆け抜けてきた私たちも、人里離れたところへ行って、しばらく休む時間が必要です。しかし、忙しさが当たり前の私たちの中には、休み方すらわからない方もいるかもしれません。そんな方のために、オランダの旅行スタイルもそうですが、イエス様、という休み方の達人を紹介します。

イエス様の人生は30歳くらいまではよく分かっていませんが、その後、十字架にかけられるまでの約3年間は、福音書によると、超多忙であったことがわかります。12人の弟子たちを選び出し、彼らと寝

食を共にしながら色々な町々を巡り、貧しい人を助け、病気の人を癒し、悪霊に取りつかれた人を癒し、自分を憎んで試してくる律法学者の相手をし、後についてくるたくさんの群衆に囲まれて暮らす。朝から晩まで人に囲まれる生活を 3 年間繰り返しました。そのような忙しい生活をしていたイエス様が、大切にしていたことがありました。「人里離れたところに行って祈る」ことです。福音書のあちこちに、イエス様があわただしく騒がしいところから離れて、ひとりで祈っている様子が出てきます。このようなイエス様の姿から、私たちは、忙しい日常の中にも、明確な境界線を作ること。休むこと。そしてひとり静かに過ごすことの大切さを知ることができます。一日の中に明確な境界線をつけないとどうなるか。目的無くいつまでもただだとスマホを見続けるかもしれません。また、勉強を続けて疲労困憊、翌日のやる気を阻害しかねるかもしれません。そうならないために、意識して一人になって休み、祈る時間を取るイエス様の休み方を参考にしてもらえればと思います。

忙しさはあなたを追いかけてきます。夏休みですら追いかけてきます。聖書を読むとわかりますが、弟子たちは、結局、イエス様のアドバイス通り、人里離れたところで休むことができませんでした。群衆が先回りして向こう岸にたどり着いていたからです。このように、私たちは休もうと思っても忙しさから逃れられません。しかし、弟子たちが人里離れた所で休めなくても、舟の上が休む場所になったように、私たちが物理的に遠くへ行かなくても、たとえ家の中であっても、ひとり静かに休むことはできます。

また、人里離れた所といえば、教会も絶好の場所です。教会レポートのためでも良いですから、教会で静かに祈る時間を取ってみてください。神さまが最高の安息(休み)を与えてくださると思います。

この夏休み、元気に、安全に、お休みください。お祈りします。

天の父なる神さま

4 月から今までの歩みを守ってくださってありがとうございます。

これから長い夏休みに入りますが、私たちの多くは、休み中、受験勉強や、クラブ活動、講座や課外活動で今までと同様に多忙です。どうか、私たちが明確な境界線を作り、休むことができますように。あなたがこの夏、最高の安息をお与えください。

イエス様のお名前によって祈ります。

アーメン

2022 年 7 月 16 日 女子聖学院中学校高等学校 放送礼拝